

# 令和3年度 中井町地域公共交通会議 (神奈川県中井町) (地域内フィーダー系統確保維持事業)

## 資料2別紙



### 地域の公共交通等の現況

中井町には鉄道駅がなく、公共交通を担う民間路線バスが最寄り駅まで運行されているが、バス路線から離れた集落も多く、町内西側の広範囲に公共交通空白地域が点在している。地理的には駅や市街地へ車で15分程度の距離にあり、丘陵地で坂道が多く、徒歩や自転車での移動に向かないことから、マイカー利用の生活スタイルが強く、平成7年以降人口も減少傾向にあることから、公共交通の利用は減少しており、その維持や高齢者等の移手段の確保で困難な状況が生じている。

### 交通計画の基本方針／地域公共交通に関する施策・取組の概要

【総合計画で位置付けている施策】 生活交通等の充実

【施策目標】 オンデマンドバスの利用検証を踏まえ、より便利で使いやすい公共交通システムを検討し、誰もが安心して暮らせる公共交通環境の整備を目指す。

【施策①】 バス交通の充実 (施策内容) 地域住民の交通手段を確保するため、バス路線の維持を図るとともに、バス利用者拡大のため路線の見直しやサービス向上をバス事業者に働きかける。

【施策②】 生活交通サービスの拡充 (施策内容) 路線バスを補完する移手段であるオンデマンドバスや、移動困難な高齢者や障がいのある方の移手段である福祉有償運送サービスの利便性向上を図り、外出支援を図る。また、隣接市町との連携・協力による広域的な公共交通対策に取り組むとともに、ニーズに応じた新たな生活交通サービスの可能性についても検討していく。

### 交通施策として実施した事業の全体像の概要

町内西側の丘陵地には、広範囲にわたり公共交通空白地域が点在しており、移動に支障を来している高齢者や児童など自動車を運転できない人の移動支援や外出のアクセス改善など、日常生活に必要な最低限の交通手段の確保及び住民の移動ニーズに合った交通手段を提供するため、既存の公共交通機関と連携した利便性の高い公共交通体系の構築、隣接市町との連携強化といった課題解決が求められている。こうした課題に対し、公共交通空白地域等の解消だけでなく、町全体の魅力を高め、定住・交流を促進するまちづくりのツールとして、中井町オンデマンドバスの運行を実施している。

### 補助対象事業の概要

既存路線バス(地域間交通)を維持しつつ、町内公共交通ネットワークを充実させるため、町内の交通不便地域などから、フィーダー系統の運行により、地域間交通を含め公共施設や医療施設、商業施設、周辺市町の市街地などへ充実した移手段を確保する取組として、事前予約型・区域運行によるオンデマンドバス(乗合)を平成25年1月から運行している。

#### 【デマンド交通・中井町オンデマンドバス「中井ふれあいバス」】

事業者名： 神奈川中央交通西株  
運行区域： 中井町内全域 ※一部町外含む(乗降ポイント120か所)  
運行日： 月曜～金曜(土日祝日、年末年始運休)  
運行時間帯： 7時00分～19時00分  
運行本数： 完全予約制、フルデマンド運行  
運行車両： 2台  
運賃： 町内 大人200円(小人は半額)  
町外 大人400円(小人は半額)

面積	19.99 km <sup>2</sup>
人口 (R3.4.1時点)	9,203 人
15歳未満	910人
65歳以上	3,209人
高齢化率	35.1 %
世帯数	3,404世帯

### 交通計画の策定年月日

令和6年3月策定予定

### 協議会開催状況

(令和3事業年度に係るもの)

- ・第31回(R2.6.12)(書面協議)  
令和3年度フィーダー計画を協議
- ・第34回(R3.12.21)  
運行内容の見直し検討  
事業評価について

## 前回の事業評価結果の反映状況

・公共交通空白地域の解消だけでなく、町全体の魅力を高める移動手段として、平成25年1月10日から運行している中井町オンデマンドバスについて、大規模な見直しを実行しない代わりに、より必要とする利用者のための運行体制の見直し・改善（運行エリアや乗降ポイント、予約方法等）を図るため、地域の利用状況を深掘りして分析し、需要予測から持続可能な地域公共交通システムを探る期間とする計画となっている。

## 定量的な目標・効果

### 【評価指標・目標値】

・指標：オンデマンドバスの利用者数の増加⇒目標値：1日当り利用者数… R2年度：42人/日  
R3年度：42人/日

### 【当該指標・目標値を設定した理由】

運転免許がないなど、外出が困難な町民をベースに利用目的や利用頻度による需要予測を行った将来の計画に基づき目標値を設定した。

### 【効果】

公共交通空白地域は解消され、地域住民の移動手段の確保が図られるとともに、利用状況に関する詳細なデータの収集・分析等を行って運行計画の見直し（運行エリアや乗降ポイント等）を重ね、地域の特性に合った持続可能な地域公共交通システムの構築へと循環させる。

また、マイカー利用の抑制、公共交通の充実による外出促進、交流の活発化にもつながる。

## 目標の達成状況・事業によって得られた効果

【指標①】実績：1日当り利用者数…R2年度 32.4人/日（令和3年9月末現在）

### 【目標を達成できなかった要因（分析）】

町内完結型運行に切り替え以降、利用者ニーズへの対応による一部町外の拠点病院への実証運行を開始し事業を展開しているものの、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出等、町民等の外出抑制等により当初目標としている42人/日以上を下回った。

### 【事業によって得られた効果】

・コロナ禍によって利用者数は目標を達成できなかったものの、交通空白地域の在住者、高齢者及び児童生徒など本来救うべき移動手段の無い人等が利用しやすい環境が保たれたと考える。今後も利用状況に注視しながら、真に移動手段を必要とする人が利用できる環境を維持しつつ、運行内容（形態）の見直しを図っていく必要がある。

## アピールポイント

・中井町オンデマンドバスは、定住・交流・地域連携の促進を考慮し、町外の方でも登録できるようにしている。また、高齢者だけでなく、自動車の運転免許を持たない若年層の利用も視野に入れ、その対応にスマートフォンやパソコン等による予約システムを開設し、全体の約6割近くの方にご利用いただいている。

さらに、路線バスの廃止・減便に伴う代替の乗降ポイント設置、利用の少なかった夜間時間帯の運行の短縮、朝の車両実働時間の拡充など、利用者ニーズを検証し、地域の需要に合致した運行サービスへの見直し・改善を継続して行っている。

## 今後の改善点

・現行の運行体制で、交通空白地域の在住者や交通弱者等が利用しやすい環境が一定程度維持されている。

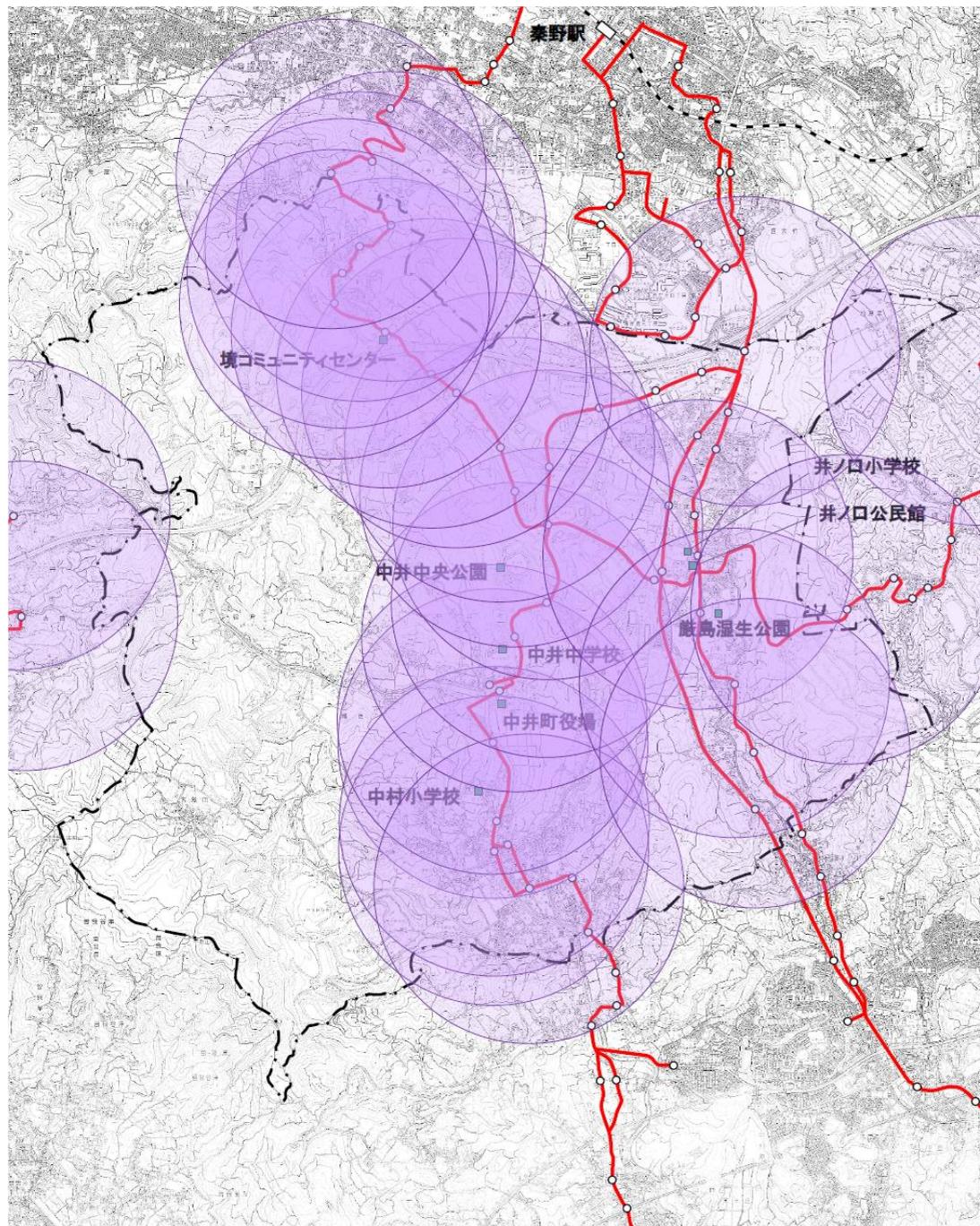
しかし、昨今、高齢化の進展や運転者不足の深刻化等により、公共交通の維持が容易でなくなってくることも予想される。

当町においても高齢化の進展が著しく、高齢者等が安全かつ安心して利用できる生活交通の早急な環境整備が求められており、費用対効果を鑑みながらサービス向上に努めていく必要がある。

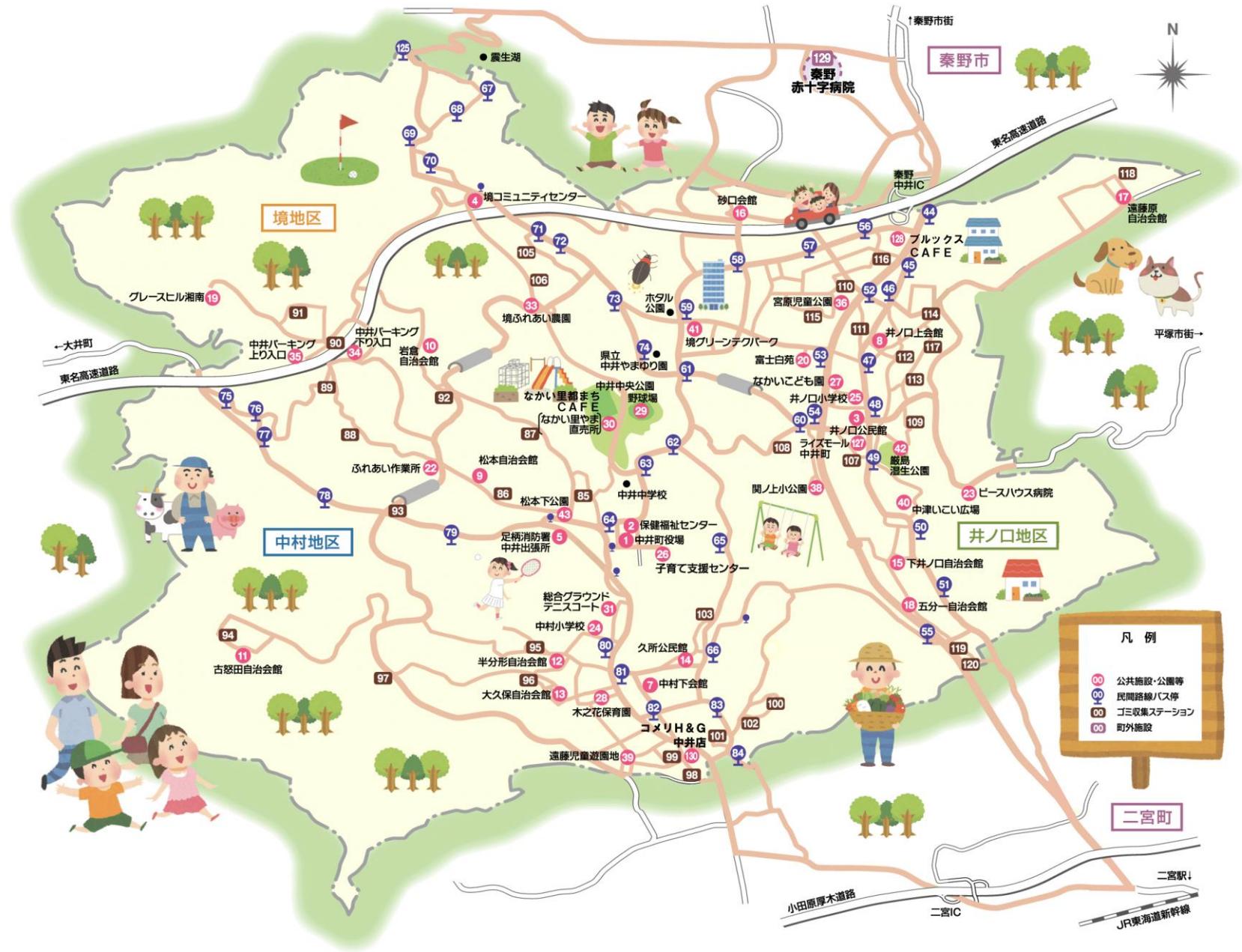
引き続き、路線バスを補完するフィーダー的役割を担っているオンデマンドバスの安定的な運行を図るとともに、障害や年齢などに関係なく、誰もが安心・快適に移動できるしくみを検討し、町の交通網全体を機能的なものにしていくことを目指す。

・地域の公共交通体系図

赤線が、路線バス走行経路



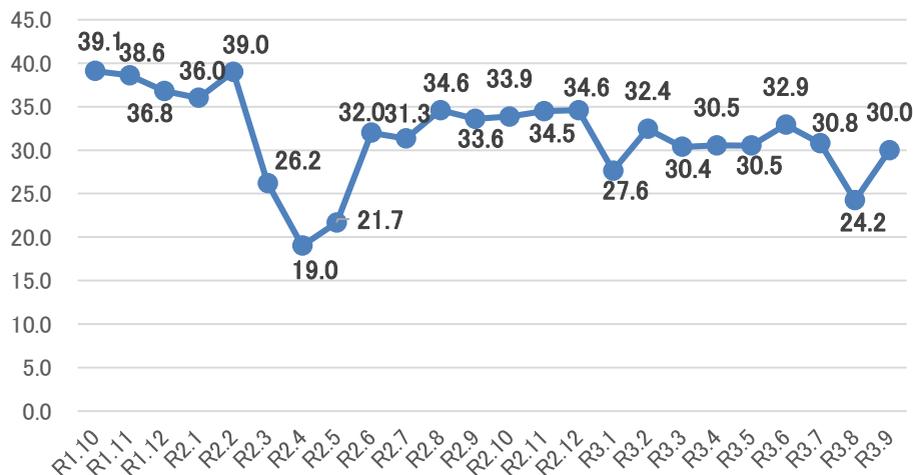
・ 補助対象事業の運行系統図



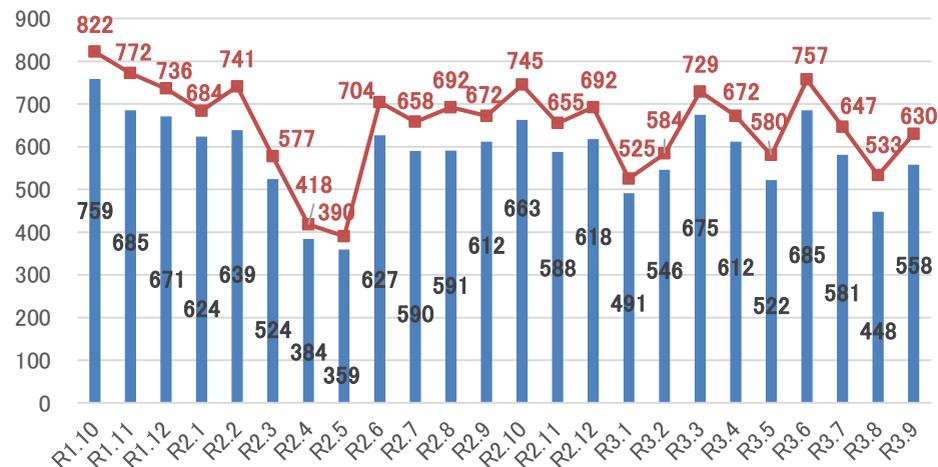
## ・ 補助対象事業の実績データ

### ◇ オンデマンドバスの利用者数

平均乗車人数/1日

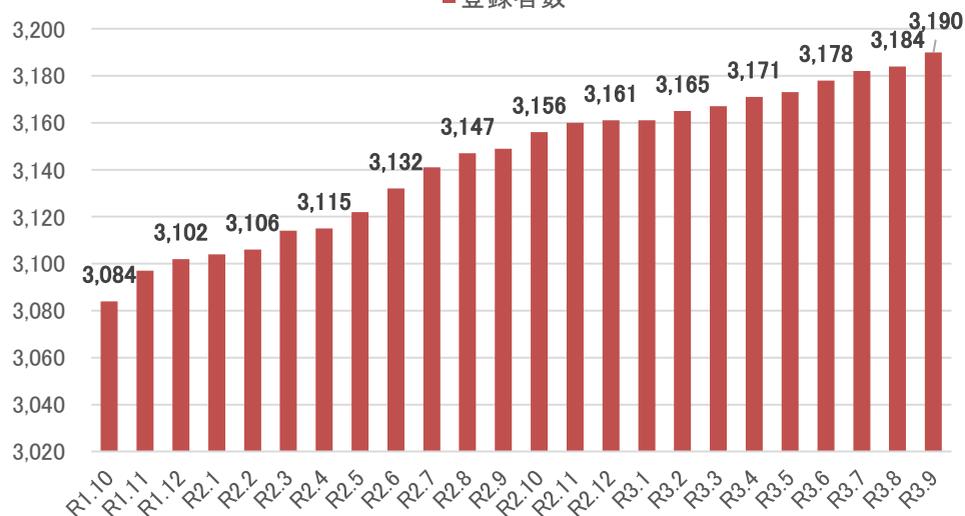


乗車件数 乗車人数



### ◇ オンデマンドバスの登録者数

登録者数



### ◇ オンデマンドバスの予約不調件数

